

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaka/>

2010.09.12 第24号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

ビエンナーレの開会まで1か月!

船坂の芸術愛好者の出展作品を募集

9月23日(祝)に説明・打ち合わせ会

推進委員会では、船坂地域の皆さんの作品を、ビエンナーレ期間中「JAふれあい会館」で展示する計画をしています。この企画には、プロ作家の北村美和子・清水一光さんも加わっていただいております。すでに数人の地域の皆さんが出展を希望されています。多数の皆さんの出展をお待ちしています。

出展を希望される方は、9月23日(祝)に説明・打ち合わせを行いますので、ご出席くださいますようお願いいたします。(出席できない方は、出席する方に出展希望数・大きさを伝えてください。)

と き 9月23日(祝)午後2時から

と ころ 旧船坂小学校ランチルーム

内 容 出展数・大きさの確認、展示期間の調整、作品の監視体制、その他を相談。

10月9日(土)は船坂地域住民によるプレオープン

春から準備を進めてきました西宮船坂ビエンナーレ2010は、あと1ヵ月後に開会されます。推進委員会では、開会前日の10月9日(土)に船坂地域の人達・作家の皆さん・後援団体の代表者など関係者によるプレオープンを行うこととなりました。

船坂地域の皆様、ご家族・ご近所お誘いあわせの上多数のご参加をお待ちしております。

[プレオープン プログラム]

10月9日(土)午後1時00分 旧船坂小学校ランチルーム集合

* ビエンナーレ周遊路が記載されたパンフレットを各自受け取り、三々五々作品を鑑賞(作品の前では、作家さんが作品説明をします。)

午後3時30分 体育館で「オープニングセレモニー」

* プロ歌手TeNさんと船坂の子どもたちによる「唱歌コンサート」

* 西宮市長・西宮市議会議長などの祝辞と作家紹介(午後5時00分終了予定)

ビエンナーレを地域振興のきっかけに!

今年のビエンナーレには、昨年以上の来場者が来られることが予想されます。推進委員会では、今年は総合案内所で、パンフレットを100円(船坂の人々は無料)で販売したり、Tシャツやストラップなど手作りグッズを販売したりして、推進委員会の運営経費にする計画をしています。

ビエンナーレの目的は、船坂地域の活性化です。しかし、ビエンナーレをするだけでは活性化しません。飲食店では、来場者に備えていろいろと創意工夫を検討されています。船坂地域の皆さんも、家族で、隣近所・友人同士のグループなどで、新鮮野菜の販売や船坂産加工品販売など、創意と工夫をこらして地域振興のきっかけにいただければ幸いです。



運動会に行こう!!

開催 : 10月3日(日)

テーマ: 未来につなごう!

ふれあいんびっく



〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com

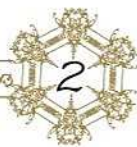


〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

Daddy's Bakery



〒651-1423 西宮市山口町船坂90
TEL : 078-907-3920



有馬街道ぶらり探訪 その8 与志朗

湯山古道も船坂集落を通り抜けつつあります。今日は「舟坂山王神社」へお参りしましょう。境内地は509坪で、祭神は大己貴命・猿田彦命・少彦名命の三神です。神殿は神明造りです。境内社として皇太神宮社があり、祭神は天照皇大神です。

承応2年8月に村人が創建すと「船坂村地誌」にありますが、天正年間、織田信長が中国平定のおり、その兵火の災に遭い、社殿・文書・宝物ことごとく焼失したと伝えられていますので、創建はそれ以前になります。

神社名については、通常、地主神（氏神）を主神とする場合は地名を、勧請神の場合は勧請神社の社名をつけることが多い。「有馬郡誌」によれば、船坂の住民は名来にあった有間神社の氏子で、有間神社が現有野の地に遷地されたときに不便になるということで、勧請したと記しています。

山王神社の建立を文明年間と仮定しますと、当時有間神社は山王神社と呼ばれていました。しかし、有間神社も兵火に遭い、古文書が焼失していますので勧請の史料はありません。また、別の伝承によれば、船坂に大岩信仰があり、その大岩に大己貴命・猿田彦命・少彦名命が鎮座しておられた。その三神を招いて祀ったものとも伝えられる。

神社名を命名するに際し、この両者を考慮して石碑にあるように「舟坂山王神社」と並べたのではないのでしょうか。しかし、神社庁への届けは「山王神社」です。神社の本殿内に安置してある猿の木造や、欄間の猿の彫刻などから山王信仰との関係は否定できない。

ここで、その猿について少し触れておきましょう。

木造神猿椅像は、岩座の上に座る金色の毛をした鼻の大きい愛嬌のあるお猿さんです。材質は松（と推定）の一木造りで内剥りはない。江戸後期から明治前期の腕の立つ仏具師の製作で毛並みなど丁寧に彫られています。全面に金箔を貼り、その上に猿の毛並みを茶系統の絵の具で彩色しています。しかし、100年以上経過し、多くの絵の具が剥落し金箔が露出しています。台座は、一面に赤色の紅殻を塗り、ところどころ緑青で苔の模様を現していますが、長い年月を経てかなり変色しています。神殿欄間の竜や猿の彫刻より、はるかに彫りは良いそうです。しかし、ご神体ではありません。奉納品の猿です。誰が、いつ、どのような理由で奉納したのか不明です。また、旧神殿（昭和51年に全面改築）の基壇の石組みは穴太積みです。ご神体の鏡（近世のもので「藤原兼次」の銘がある）や猿の製作時期（造形表現が近代彫刻のものに近い）などから、明治中期から大正前期に本殿の改築か修復があったと推察されます。明治29年に改築があったとの言い伝えもあります。その際に猿は奉納されたのでしょうか。神猿椅像や基壇石の穴太積みなどから日吉山王との関係が伺えます。 礼拝。

（お願い）大岩信仰について、祭り方・組織なんでも結構です。少しでも記憶にありましたら教えて頂ければありがたいです。宜しくお願い致します。

連絡先——船坂新聞編集部又は坂田芳郎 (TEL/FAX078-904-2569)

旧船坂小2年生の教室が朝日テレビに登場！

9月23日（祝）午後4時から6時まで6chで放映される特別番組「人生の教科書」に、旧船坂小2年生の教室が登場します。出演は、サッカー遠藤選手、安藤忠雄、哀川翔、トミーズ雅、ジャンプーハット、月亭八光さん。9月某日、旧船坂小で撮影がありました。皆様、ぜひご覧ください。



株式会社 加登

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4
TEL:078(904)3843 FAX:078(904)0169
http://www.forever-kato.co.jp



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
http://www.kozaidonya.com

PENNY LANE



ガレージ&カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
http://www.penny-lane.jp/

船坂若者（わかもん）座談会（最終回）

船坂居住の20代の方による座談会。最終回は「船坂の新しい動き（後半）」と「今後の船坂」についてお話いただきます。

〔船坂の新しい活動〕（後半）

〔編〕ピエンナーレの活動についてはどう思われますか。

〔C〕すごい良かったと思います。ここにバスで来る人が増えたと感じました。作品間の距離がありすぎて歩くと大変でしたが、催し自体は大賛成です。自分からは手を挙げにくいですが声を掛けてもらえば、日程が合えば手伝いたいです。

〔E〕地域の人も近くの作品は見てるだろうし興味持っていると。ただ、外から来た人がやってるので、手を出さないほうがいいようなイメージ、カヤの外から見る雰囲気はありました。

〔A〕意識の問題だと思いますが、船坂の人で見ていない人もけっこういると思うので、地域の人ももっと関わりが持てるようにすれば良いと思いますし、企画自体も良いことだと思います。

〔D〕作品の出品の面でも関わっていただけたいと思います。興味はあります。

〔B〕催しは良いことだと思いますが、新聞掲載記事も阪神版のみで神戸版でないなど、有馬舎む神戸市側に情報が送られていませんでした。神戸市側に向けてポスター展開すれば効果があると思います。あと、やっぱり地域住民が参加しづらい雰囲気があるので、地元が作った作品をひとつ出品するなど、住民がピエンナーレに関わるようにすることも考えられます。



〔船坂が今後どうなれば良いと思うか。〕

〔A〕船坂はこのままだと未利用地が多くなり、土地が安いので営利業者が入ってきやすくなります。地域を理解し、共生できる業者ならいいんですが、営利目的のみの業者ばかりになると船坂が崩れてくると思うので、船坂の良い面を残しつつ、改善できるところは改善するなど、危機感を持って地域活動を行ってほしいと思います。

〔E〕外から人がいっぱい入ってくることは、私も少し抵抗感があります。地域と協力して活動してもらえ人に来てほしい。あと、体育館や運動場で行われてる「ふれあい広場」「ふれあいピック」などの地域参加行事は、地域住民が個別バラバラの生活になることを避けるため、住民が一同に集まれる広いスペース（公会堂では不足）をこれからずっと持ち続けるためにも、絶対必要で続けるべきだと思います。

〔B〕外から来た人ばかりが活動の中心になってるので、地域住民がその活動に関わって動きやすくなるような仕組みを考えることが、これからの地域活動で大事なことだと思います。具体的には、今ある活動に地元参加を促進させること。

〔C〕雰囲气的には今のまま“のどか”で“温かみ・人間味”のある船坂がいいです。ただ、密になり過ぎると困ることもあるので、程よい距離を保っていただけたいですね。

〔D〕船坂を好きになる、そして船坂の豊かな環境を残したいと思うことが大事だと思います。例えば、船坂川清掃に積極的に皆が参加できるようにするとか、蛍の繁殖促進などして、良い部分（自然豊かさ）をもっと伸ばすこと出来ればいいですし、そんな活動に賛同できるような人が船坂に入ってくれたらなと期待しています。

今回、初めてこのような試みを行いました。編集部の予想以上に、たくさんお話いただきました。参加いただいたのは、黒木拓磨さん、西口かおりさん、西口ひとみさん、八濱達哉さん、八濱千穂さんの五名（五十音順）です。貴重な意見を数多くいただき、本当にありがとうございました。

この記事が、読者の皆さまそれぞれのお考えに対し、何らかのかたちで届いてくれることを願っております。
（座談会企画委員 文責：中西学）



株式会社 キューコーポレーション
〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041
FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com
代表取締役 植松 稔晶

9月のコンサート予定
9/23(日) 中村朋子ソプラノ
コンサート 6:00pmから3000円



要：電話予約

Tel: 078-903-1172

創業昭和八年

北福畳店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660

船坂小学校跡地利用説明会開催される！

去る8月19日(木)の午後7時30分から旧船坂小学校ランチルームに於いて、船坂小学校跡施設活用の検討に係る意見交換会が行われ、検討準備委員会(船坂地域諸団体代表者による活用委員会と西宮市役所政策推進グループ)の方々以外にも、先日の廃校跡施設利用の視察に参加した人を含めた大勢の地域住民が参加されました。

酒井自治会長の挨拶に続き、市の総合企画局の時井課長が司会進行役を務め、これまでの検討準備委員会の取り組み、跡地利用の視察の報告等が行われ、その後、西宮市のワーキングチームからの提案に移りました。

提案の概要は、木造校舎の利用は、施設の耐震性と裏山の土砂災害の危険性などの検討課題が多いことから、当面、ランチルームを、誰もが使える多目的な場所、地域のイベントや研修に利用出来る場所として必要な改修工事を行い、そこの施設管理を船坂地域に委託したいとの事でありました。この提案に際しては、スライドを使用して、ランチルームの改修工事プラン案の図面が示されましたが、現在、ランチルームを使用している団体の方からの問題点の指摘や、今後の校舎跡の維持保全に関する質疑応答が活発に行われました。

老朽化の著しい校舎部分を安全かつ恒久的な施設として利用するには、その使用目的に沿った、大がかりな改修工事が必要になる可能性が指摘されましたが、現在の船坂には、ビエンナーレ、船坂新聞、農地・農業を考える会等の発展性の高い地域活動が芽生えてきており、その現状を踏まえて、西宮市サイドでは、今後の船坂全体のまちづくりにとって、どのような跡地利用が有効か、ある程度の時間をかけて検討していく意向のようです。

そして、このような意見交換会が持たれた理由としては、従来の検討準備委員会の会議に出席されている人々以外にも、広く船坂地域の住民に参加してもらい、幅広い意見を出し合ってもらいたいとの西宮市サイドの考えが反映されたようです。今後、船坂新聞の読者の方々にも、小学校跡地利用にこれまで以上の関心を持ってもらい、色々な意見・提案を期待したいものです。(成瀬 嘉考)

船坂方言教えて！(続編)

60語ほど寄せていただきました。今月号の折込で配布しましたので、これは違う！とか、こんな思い出した！など情報ください。

坂田芳郎(904-2569) 平井雅博(904-1453) または公会堂前「船坂新聞ポスト」まで

野球部より

8月は2連敗で、3勝3敗となる。9月は頑張ります。



編集後記

絵：なるせ わなか



亥角さくら

今年はじめてラズベリーを育てました。ほんの少し収穫できました。来年も実をつけて欲しいのでこの暑さに負けないように水やりを頑張っております。が、剪定方法とかイマイチ?????な私。これでいいのか??って状態です。来年も赤くてかわいい実がつかますように(^ 0 ^)

絵：なるせ わなか



八濱雅彦

9月に入っても猛暑が続いていますね。熱帯夜の無い船坂に暮らしていて本当によかったと思います。ビエンナーレの開催も1ヶ月後に迫り、作家、推進委員、ボランティアの皆さんの活動も活発になってきています。みんなで協力してぜひ成功させて、「船坂」名を全国に広めましょう。

calendar (9/12~10/10)

9/12		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
芸術祭のほり旗立て		いきいき講座「劇団アミーゴ」公演				道つくり	新聞編集委員会	芸術祭役員会		たんぼはほほ読み聞かせ	農地農業考える会	老人クラブ定例会	芸術祭推進委員会	たんぼはほほ図書室開放	SC21定例会						芸術祭役員会	船坂地区運動会		老人クラブ日帰り旅行「信楽」				芸術祭セレモニー	芸術祭開会シンポジウム	自治会定例会

船坂のサークル活動

活動名	開催日	時間
バレーボール	水	19:30
テニス	土日	9:00
クォーターテニス	水	9:30
2・4	土	19:30
グランドゴルフ	水・金	9:30
ヨガ	月	10:00
ゴルフ	火	19:30
年3~4回		

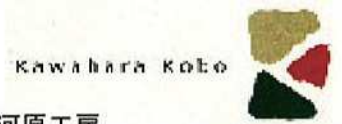


西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地
Tel/Fax 078-903-1158



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL 078(904)2603
パースデーケーキをお宅までお届けします。(山口町内 無料配達いたします。)



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp